

科目名

建築造形実習 Architectural Design Exercise

3年 前期・後期通し 2単位 選択

西郷正浩

【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：4
情報教育目標との対応：情報活用の実践力
建築学科教育カリキュラムとの対応：

学習・教育目標	JABEE基準 1 の(1)の知識・能力	コース名	必修／選択の別	授業時間
C	—	建築総合コース	選択	45時間
	C 1	建築計画コース	必修	
	—	建築構造コース	選択	

【概要】

前半は、家具の設計・製作を行います。家具を小さな建築と捉えて、テーマを設定し、その造形・構造を考え設計します。また、予算を設定し、ホームセンター等で材料を選定しながら設計します。特に接合部のデザインを重視し、ディテールの設計感覚を身に付けて頂きます。後半は、考え方と空間構成・造形の対応を重視した住宅設計を行うとともに、その案を説明するプレゼンテーションパネルの作成方法も学習します。

【到達度目標】

- (1) ディテールを意識した設計方法を習得する。
- (2) コストと材料の制約を意識した設計方法を習得する。
- (3) 考え方と造形との関連を意識した設計方法を習得する。
- (4) 考えを図で表現する方法を習得する。

【授業計画】

テーマ	内容
① 課題 1 エスキース	課題説明とセルフビルドの事例紹介を行った後、何のためにするのか「テーマ」を考える。
② 同上	「テーマ」を決定し、テーマに対応した方法を考える。
③ 同上	テーマに対応した方法を決定し、模型を制作する。
④ 同上	模型に修正を加え、材料を考える。
⑤ 課題 1 中間発表会	全作品プレゼンテーションと質疑応答を行う。その後、設計変更を検討する。
⑥ 課題 1 図面化	接合部の検討する。
⑦	図面化を行う。
⑧	図面のチェックを行い、図面を修正する。
⑨ 課題 1 講評会	夏期休暇中に集中的に製作を行う。
⑩ 課題 2：住宅設計	全作品を展示し、学生による投票を行う。全作品プレゼンテーションと質疑応答を行う。
⑪	課題説明を行う。先進的な住宅事例を収集・分析し、自身のプログラムを考える。
⑫	プログラムを決定し、反映した空間構成・造形を考える。
⑬	考えた空間構成・造形を模型で検討する。
⑭	空間構成・造形を決定し、造形との整合性をもった構造を考える。
⑮	案を決定し、図面化する。
⑯	図面のチェックを行い、完成させる。
⑰ 課題 2 講評会	全作品を展示し、学生による投票を行う。全作品プレゼンテーションと質疑応答を行う。学生自身による自己評価

【授業方法】

各課題開始時に、課題の内容・意図をプリントで説明し、課題に関する話題をVTR・スライドで紹介し、エスキスチェックはマンツーマンで行います。

【学習到達度の評価】

- 1) 考え方・デザインの方法をマンツーマンでアドバイスし、理解度を促します。
- 2) 各課題制作後に講評会を実施し、作品の講評を通して、課題の考え方の理解・発展を促します。
- 3) 講評会では学生投票を行うことで、学生各自が他者の作品を通して、各自の到達度を評価できるようにします。

【評価方法】

- 1) 課題 1 を50点、課題 2 を50点で採点して評価します。
- 2) 全授業終了後に学生自身による自己評価を行います。

【関連科目】

- 1年：デザイン実習Ⅰ
- 2年：デザイン実習Ⅱ、建築CAD実習
- 3年：建築設計Ⅱ、地域計画設計

【教科書・教材】

日本建築学会 編「第3版コンパクト建築設計資料集成」丸善
配布プリント

【参考書】

適宜紹介する。

【履修上の注意】

デザイン実習Ⅰ・Ⅱ、建築CAD実習の履修を前提に行います。
夏期休暇中に作業することを前提にします。
CADを使用した図面作成を前提にします。

【オフィスアワー】

適宜、昼休み（12:00～1:00）に研究室にて講義内容に関する質問を受付ける。